

# JA 自己改革 (第4号)

## 「JA 県域農業 サポートセンター」

～ JA 自己改革の完遂に向けて! ～

JA 県域農業サポートセンターは、JA 自己改革の目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、様々な事業に取り組んでいます。これまでの具体的な取り組み内容などをご紹介します。

### 1. 担い手に出向く体制の構築と支援

各JAにサポートセンター駐在職員を配置し、担い手に出向く体制を構築しています。平成29年度はより多くの農家訪問に取り組み、営農・経営相談など現場で求められる声への速やかな対応を行います。

### 2. 生産者の所得アップを直接応援! 職員の資質向上支援も

生産者の農業機械などの導入に上限40万円(1組会員あたり)を支援する「生産者所得アップ応援事業」、販売力や営農指導力の向上を目指した「営農指導強化応援事業」など7つの事業を展開しています。

農家の経営向上を支援する「経営診断分析支援事業」では、各JAにモデル経営体(法人)を定め、専門家を交えた経営改善に取り組んでいます。また、4月からは簡易な経営診断が可能な「担い手支援活動サポートツール」を導入し、より多くの農家のサポートに取り組みます。

### 3. 農業者人間ドック助成事業など求められる事業をさらに展開

農家からの要望を踏まえ、JAグループとして新たな取り組みとなる「農業者人間ドック助成事業」を平成30年春から実施します。また、GAPの取り組み支援活動や県内JA直売所推進協議会の設立運営など、鳥取県農業の未来を見据えた事業を今後も展開していきます。



定期的なミーティングで  
事業内容を検討。